

旧岡山農学校 現高松農業高校地域向け情報誌

備中高松城下町かわら版

http://www.takano.okayama-c.ed.jp/

第 99 号
平成 27 年 2 月 27 日

発行元
岡山県立
高松農業高等学校

tel
086-287-3711
fax
086-287-3713

朝礼台

本校もいつかはSSHに。

校長 石田 正人

本校より少しばかり歴史が新しく、しかし、本校より学科数は2つ多い農業高校が広島県東広島市にある。その名も広島県立西条農業高等学校だ。私は、同校を過去4回訪問したことがある。行く度に感嘆するのだが、今回が一番驚いた。昨年の11月22日の事だ。同校のスーパーサイエンスハイスクール（通称SSHと言ふ）研究開発中間発表会に参加した時のことである。この日、本校からは、その西条農高から昨夏の8月転学してきた食品科学科2年の女子生徒1名のほか農業科学科1年生2名、園芸科学科1年生6名、農業土木科1年生2名と総勢生徒11名（男子4名、女子7名）が参加した。教員は私を含め6名参加した。庄巻は、まず西条農高が連携しているイリノイ州立大学から来日し、参列していた学生と同大学の教官、アメリカ大使館農務部農務官に敬意を表しての星条旗の掲揚と同校吹奏楽部による国歌の演奏だった。西条農高の全校生徒がその場にいた。その日は西条農高9名の生徒発表と他に広島県内のSSH研究指定校など（広島大学附属高校・国泰寺高校・安田女子高校・広島女学院高校）4校の生徒発表や彼らを含めたパネルディスカッションが主な内容であった。実に午前9時30分の開会から閉会の午後4時30分まで、休憩は昼食時の50分だけ。この間、西条農高の生徒は、どの生徒もメモを取りながら熱心



に聞き入っていた。

さて、本校でも、毎年、1月下旬から2月上旬に5学科（農業科学科・園芸科学科・畜産科学科・農業土木科・食品科学科）がそれぞれ『研究発表大会』を開催する。今年も全科で延べ5日間、3年生186名、個人またはグループで118本の研究発表があった。今年度、画期的だったのは、農業科学科の発表の中に、AMDAとJICAの関係で来校したラオス、フィリピンの農業技術者の方たちに自分たちの有機農業に関する研究を英語で説明したものや、畜産科学科の小家畜専攻（養鶏専攻）10名が全員英語によるプレゼンテーションに挑戦したことだ。この取組の詳しい経緯は省略するが、GSO（グローバル・サイエンス・OKAYAMA）というグローバル教育の一環だ。このように研究の内容さえあれば英語による発表は本校でも可能だということを示してくれた。研究は地道なのである。それぞれ発表会を終えた3年生の表情は、私があつた西条農高で見た生徒たちと同様に晴れやかだった。そして、その姿を見る下級生の表情も同じだった。

◆ 「平成 26 年度 高松農業高校研究発表大会」 開催される ◆

1月22日(木)～2月5日(木)の日程で、各学科の研究発表会が開催されました。本年度も主に3年生が1年間かけて取り組んできた課題研究の研究成果や取組の実践報告(全118題)がなされました。発表内容もさることながら、クラスメートや下級生との質疑応答も熱心に交わされていました。今年は保護者や卒業生の方も大勢来校され、熱心に聞いてくださいました。また、今年初めての取組として、畜産科学科小家畜専攻生(10名)が県のGSO(グローバル・サイエンス・OKAYAMA)事業を活用して外国人講師の荒井ヨウテ先生の指導を受け、英語による発表に挑戦しました。10名は論文の「Abstract(抄録)」部分を英語で発表し、荒井先生からの英語による質問にも頑張って答えていました。この取組は今後、他の専攻生や学科にも広がるものと期待されます。各学科の2年生は、先輩の発表を聞いて、次年度の自らの研究テーマについて考え始めた様子でした。



3月の行事

- 1(日) 卒業式
- 2(月) 3/1の代休
- 3(火) 学校評議員会・学校評価委員会
- 4(水) 農業クラブ校内幹部講習会
- 8(日) 「食と環境・復興フェア」(高松公民館)
- 10(火) 入試準備(～16日まで生徒登校禁止)
- 12(木) 学力検査
- 13(金) 面接
- 20(金) 合格者発表・終業式・寄宿舎閉舎
- 21(土) 春分の日
- 25(水) 入学許可予定者招集日
- 26(木)～27(金) 生徒会リーダー研修会

◆ グローバル教育講演会 [平成 27 年 2 月 20 日(金)] ◆

このたび京都大学大学院からグローバル地域研究専攻の安念真衣子さん、山田祐樹久さんをお招きし、グローバル教育講演会を開催しました。これは学評議員の定廣好和さんのご縁で実現したもので、1年から3年生の有志27名、教職員10名が参加しました。お二人からは、それぞれネパール、ベトナムの農業や農村生活の実情と体験を通して感じたこと等をお話しいただき、本校生徒たちもとても真剣に聴き、質問をしていました。改めて、世界の実情を知り、その中での日本の良さや在り方を考えることが大切であると感じることができ、とても有意義な講演会となりました。



☆参加者募集!!

高農 グローバル教育講演会

○ 日時 「第1期(春)」について平成27年2月20日(金)17時～19時30分(本校講堂)にて開催いたします。参加費は無料です。お申し込みは、学校評議員の定廣好和先生(086-287-3711)までお願いします。

○ 対象 本校1～3年生(有志) 定員 27名(17席)

○ 申込 締切日 2月18日(金) 17時迄

○ 申込先 学校評議員 定廣好和先生(086-287-3711)

○ 申込先 学校事務 山田祐樹久先生(086-287-3711)

○ 申込先 「高松市」市民センター(高松市東区東山町1-1) 市民参加課 山田祐樹久先生(086-287-3711)

○ 申込先 「高松市」市民センター(高松市東区東山町1-1) 市民参加課 定廣好和先生(086-287-3711)

参加申込書
「高農グローバル教育講演会」申込書です。

平成26年度 高松農業高校研究発表会 全研究テーマ (118 題)

<農業科学科 研究発表会 平成27年 1月22日(木)>

| 研究 題目 | 専 攻 |
|--------------------------------|----------|
| 1 模擬会社あかなす 株主総会 | (農業流通) |
| 2 カルゲン施肥量を変えたときの「にこまる」の違いとは? | (生産技術作物) |
| 3 ヒノキの高温障害対策 II | (生産技術作物) |
| 4 ゆとりのある作物栽培 ~防霉ファンにヒントを得て~ | (生産技術作物) |
| 5 しまわりの種を食べてみよう!! | (生産技術作物) |
| 6 丹波黒をハーブで守れ!! | (生産技術作物) |
| 7 サツマイモ生育調査 | (生産技術作物) |
| 8 養液栽培で美味しい高品質トマトを作ろう ~3年目の取組~ | (生産技術野菜) |
| 9 美味しいイチゴと品質の向上を目指して | (生産技術野菜) |
| 10 新野菜栽培への挑戦 III ~高付加価値野菜を求めて~ | (環境農業) |
| 11 環境保全型農業推進コンクール 高松農業高校の取組 | (環境農業) |

<農業土木科 研究発表会 平成27年 1月22日(木)>

| 研究 題目 | 専 攻 |
|------------------------------|---------|
| 1 定時制庭園復活を目指して | (測量・施工) |
| 2 古代のロマンを追って、進山(つくりやま)古墳の研究 | (測量・設計) |
| 3 細骨材および水分量を変化させた条件下での耐久性の実験 | (環 境) |
| 4 居心地の良い場所 | (環 境) |
| 5 放射線量を活用した調査・研究 | (環 境) |
| 6 本校校庭の各所における騒音レベル量の調査 | (環 境) |
| 7 心拍数と環境の変化 | (環 境) |

<園芸科学科 研究発表会 平成27年 1月23日(金)>

| 研究 題目 | 専 攻 |
|------------------------------------------|--------|
| 1 私たちが行くケアハウスでの園芸交流 | (セラピー) |
| 2 カラーインテリア | (草 花) |
| 3 フラワー装飾検定 ~身近な花を使ってワンランク上の技術に挑戦~ | (草 花) |
| 4 ビオナーのLED調査 | (果 樹) |
| 5 芝人形クリスマスパージョン ~商品化への挑戦~ | (セラピー) |
| 6 ももり かと心をあわせて もりあげよう プロジェクト | (草 花) |
| 7 Fantasy World | (草 花) |
| 8 キウイの生育調査とふれあい市の宣伝と果樹加工 | (果 樹) |
| 9 化学合成農業不使用栽培プロジェクト ~安全・安心・安定生産のハーブティー作り | (セラピー) |
| 10 花と過ごしたこの時間 ~フラワーアレンジメントに参加して~ | (草 花) |
| 11 FLOWER BED | (セラピー) |
| 12 スリースハートフルプロジェクト | (草 花) |
| 13 芝人形で支援プロジェクト | (セラピー) |
| 14 「かこうはん ダヨ!!」 | (果 樹) |
| 15 豚骨・ホタテが草花の生育に及ぼす影響 | (草 花) |
| 16 京山中の思い出づくり | (セラピー) |
| 17 児島湖の汚泥に関する研究 | (草 花) |
| 18 とある学生の製作日記 ~モニュメント~ | (草 花) |
| 19 日本はっか生産 x ハーブティー商品化 | (セラピー) |
| 20 清水白桃と夢白桃の比較調査 | (果 樹) |
| 21 petunia ~オリジナルの花を目指して~ | (草 花) |
| 22 メロン班の実録日記 | (セラピー) |
| 23 室内園芸装飾と緑への道のり | (草 花) |
| 24 植樹工場でエディブルフラワーを生産 | (草 花) |
| 25 一年間の活動の記録 | (全 体) |

<食品科学科 研究発表会 平成27年1月30日(金)・2月2日(月)>

| 研究 題目 | 専 攻 |
|----------------------------------|---------|
| 1 米粉を使用したピザの製造 | (大 家 畜) |
| 2 和風マカロン | (大 家 畜) |
| 3 カボチャのパンケーキ | (大 家 畜) |
| 4 紅色チーズケーキの開発 | (大 家 畜) |
| 5 醤油漬け・みそ漬けゴーダチーズの開発とテンペチーズの改良 | (大 家 畜) |
| 6 もももち食感ロールケーキの製造 | (大 家 畜) |
| 7 健康に良いお菓子作り | (大 家 畜) |
| 8 新感覚の米粉ベークル | (大 家 畜) |
| 9 ナスを使ったジャムの製造 | (大 家 畜) |
| 10 パンキンバイクドチーズケーキ | (大 家 畜) |
| 11 野菜を使ったマフィン | (大 家 畜) |
| 12 大豆餡の改良と岡山甘栗の利用 | (大 家 畜) |
| 13 抹茶とホワイトチョコレートケーキ | (大 家 畜) |
| 14 酒粕シフォンケーキの製造 | (大 家 畜) |
| 15 かぼちゃを使ったお菓子作り | (大 家 畜) |
| 16 食品科学科オリジナルケーキの成分分析 ~水分編~ | (大 家 畜) |
| 17 フランスパンの製造 | (大 家 畜) |
| 18 食品衛生検査およびブドウワインの試験醸造 | (大 家 畜) |
| 19 米粉の製菓利用の促進 | (大 家 畜) |
| 20 ジャムを使ったケーキの製造 | (大 家 畜) |
| 21 食品科学科オリジナルケーキの成分分析 ~脂質編~ | (大 家 畜) |
| 22 豆腐を使用したオリジナルロールケーキ | (大 家 畜) |
| 23 味噌入りあんぱん | (大 家 畜) |
| 24 原料白桃の処理方法がジャムの品質に与える影響 | (大 家 畜) |
| 25 抹茶と甘納豆の米粉パウンドケーキの製造 | (大 家 畜) |
| 26 梅干しとしば漬けの試作 | (大 家 畜) |
| 27 油で揚げないドーナツ | (大 家 畜) |
| 28 ももちのマフィン | (大 家 畜) |
| 29 ほうれん草を使ったヘルシー種 | (大 家 畜) |
| 30 米粉と野菜のケーキ | (大 家 畜) |
| 31 食品科学科オリジナルケーキの成分分析 ~炭水化物・灰分編~ | (大 家 畜) |
| 32 じゃがいも・モンブラン | (大 家 畜) |
| 33 醤油漬け・みそ漬けゴーダチーズの開発とテンペチーズの改良 | (大 家 畜) |
| 34 大豆餡の改良と岡山甘栗の利用 | (大 家 畜) |
| 35 使えるセロ加工品の製造と利用 | (大 家 畜) |
| 36 食品科学科オリジナルケーキの成分分析 ~タンパク質編~ | (大 家 畜) |
| 37 にんじんゼリー | (大 家 畜) |
| 38 切干し大根とハリハリ漬けの試作 | (大 家 畜) |

<畜産科学科 研究発表会 平成27年 2月4日(水)・5日(木)>

| 研究 題目 | 専 攻 |
|-----------------------------------------------------------------------|-----------|
| 1 牛舎のハエをなくそう ~ハエの防除法の研究~ | (小 家 畜) |
| 2 糞からのスコープリサーチ | (小 家 畜) |
| 3 美 Fore After ~in トリマー~ | (小 家 畜) |
| 4 COW~MODELの使用による搾乳体験 | (小 家 畜) |
| 5 ミルクで作る乳(NEW)~製品 | (小 家 畜) |
| 6 最高のリンビを求めて ~Total Mixed Ration の調整~ | (小 家 畜) |
| 7 Cow Zoology ~牛の動物管理学~ | (小 家 畜) |
| 8 五感を通したハーブガーデン | (小 家 畜) |
| 9 Breeding and observation of four birds species | (小 家 畜) |
| 10 Introduction of poultry science major in English | (小 家 畜) |
| 11 About the ecology of guinea fowl and turkey | (小 家 畜) |
| 12 Making products using what you can not commodity | (小 家 畜) |
| 13 Mouse measures for hens | (小 家 畜) |
| 14 Health management using Egg White | (小 家 畜) |
| 15 Let's make the "KEZURIBUSI" using chicken | (小 家 畜) |
| 16 Study on artificial hatching and ecological investigation of quail | (小 家 畜) |
| 17 Heatstroke measures of hens using the bitter gourd | (小 家 畜) |
| 18 Use of Eggshells | (小 家 畜) |
| 19 魅力あるウイナーづくりについて | (中 家 畜) |
| 20 ルイボステイ給与による成育や肉質の向上について | (中 家 畜) |
| 21 豚の暑さ対策について | (中 家 畜) |
| 22 豚舎の修理と改善(溶接編) | (中 家 畜) |
| 23 豚とインシとインプタの肉質及び官能評価等の違いについて | (中 家 畜) |
| 24 たくさんの人に癒しを与えるために | (中 家 畜) |
| 25 豚舎の修理と改善(土木編) | (中 家 畜) |
| 26 ホエー給与による成育や肉質の向上について | (中 家 畜) |
| 27 食用米給与による体重及び肉質の変化について | (中 家 畜) |
| 28 肥育豚における付加給与による肉質などの変化について | (中 家 畜) |
| 29 ハムスターの生育・体調の調査 | (実 験 動 物) |
| 30 ハムスターの学習能力について | (実 験 動 物) |
| 31 ヤギ・ヒツジの利活用について | (実 験 動 物) |
| 32 飼育環境の違いがマウスの健康状態に与える影響について | (実 験 動 物) |
| 33 ウサギのトイレトレーニング | (実 験 動 物) |
| 34 フェレットの生態調査 | (実 験 動 物) |
| 35 犬の嗜好性と行動調査 | (実 験 動 物) |
| 36 私の青春 ~ゴマと共に~ | (実 験 動 物) |
| 37 ネコの生育調査と調教の可能性 | (実 験 動 物) |

